

万博開催時の駐車場マネジメントの実現

2025年に開催される大阪・関西万博は、多数の来場者による交通への影響を緩和するために、TDMやMaaSなど最新の交通マネジメント技術の導入に向けた検討が進められています。その中で、道路交通については、アクセス道路整備や局所改良などネットワークのハード対策に加えて、クルマの目的地となる駐車場についても、一体的に対策を講じる必要があります。このため、事前予約システムやETC情報などデジタルを活用したソフト対策について、官民連携で検討を進めます。

周辺民間駐車場のマネジメント

万博会場周辺や主要ターミナル駅周辺では、民間の空き駐車場を探すための「うろつき交通」渋滞等の発生が予測されるため、周辺駐車場への事前予約システムの導入を検討します。

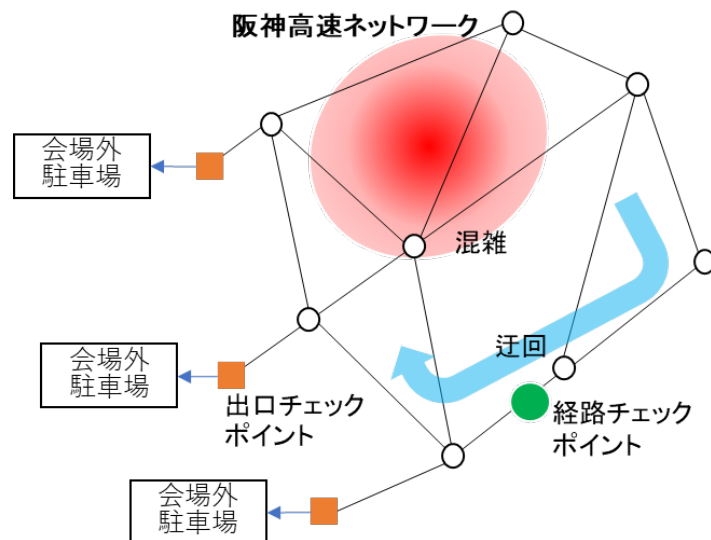
うろつき交通への対策が必要と想定される箇所



【関連ページ】大阪・関西万博 駐車場対策協議会

万博駐車場交通プライシング

来場者の会場外駐車場（舞洲、尼崎、堺）への利用経路について、混雑や環境に配慮した阪神高速の特定出入口への誘導や、混雑区間の迂回を誘導するため、ETC情報を活用した駐車場料金のインセンティブについて検討します。



【関連ページ】万博駐車場交通連携システム検討会